

# 新薬（抗インフルエンザウイルス薬）の薬価基準緊急収載のお知らせ

平成30年3月13日  
公益社団法人 福岡県薬剤師会薬事情報センター

厚労省は新薬（抗インフルエンザウイルス薬）の薬価基準追補収載を平成30年3月13日に告示した。3月14日から適用する。

## 〔内用薬〕

処：処方箋医薬品

分類	医薬品名(会社名)	規格・単位	薬価(円)	規制	備考(成分, 薬効)								
625	ゾフルーザ錠10mg // 20mg  (塩野義)	10mg, 1 T 20mg, 1 T	1,507.50 2,394.50	処	<p>バロキサビル マルボキシル 抗インフルエンザウイルス薬。 キャップ依存性エンドヌクレアーゼ阻害薬。 適応は、A型又はB型インフルエンザウイルス感染症。 成人及び12歳以上の小児は、20mg錠2錠を単回投与。ただし、体重80kg以上の患者は20mg錠4錠を単回投与。 12歳未満の小児は、以下の用量を単回投与。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>体重</th> <th>用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>40kg以上</td> <td>20mg錠2錠</td> </tr> <tr> <td>20kg以上40kg未満</td> <td>20mg錠1錠</td> </tr> <tr> <td>10kg以上20kg未満</td> <td>10mg錠1錠</td> </tr> </tbody> </table> <p>投与は症状発現後、可能な限り速やかに開始することが望ましい（症状発現から48時間経過後に投与を開始した患者における有効性を裏付けるデータは得られていない）。 本剤の投与にあたっては、必要性を慎重に検討する。 予防投与の有効性・安全性は未確立。 重度の肝機能障害患者は慎重投与。 低出生体重児、新生児、乳児に対する安全性は未確立（使用経験がない）。 小児には適切に経口投与できると判断された場合のみ投与。 小児・未成年者には、異常行動による転落等の万が一の事故防止のための予防的な対応をとる。 バロキサビル マルボキシルは、小腸、血液、肝臓中のエステラーゼにより速やかにバロキサビル マルボキシル活性体に加水分解される。バロキサビル マルボキシル活性体は、UGT1A3によりグルクロン酸抱合体に代謝され、CYP3Aによりスルホキシド体に代謝されると推定される（in vitro）。 バロキサビル マルボキシル活性体は、A型及びB型インフルエンザウイルスキャップ依存性エンドヌクレアーゼの活性を選択的に阻害し、ウイルスmRNAの合成を阻害することによりウイルス増殖抑制作用を発揮する。</p>	体重	用量	40kg以上	20mg錠2錠	20kg以上40kg未満	20mg錠1錠	10kg以上20kg未満	10mg錠1錠
体重	用量												
40kg以上	20mg錠2錠												
20kg以上40kg未満	20mg錠1錠												
10kg以上20kg未満	10mg錠1錠												